

## 専門部会活動の近況報告～連携班，設立支援班，キャベツ班の取組み～

### ◎キャベツ班（H22.6.22 農業技術センター（東広島市八本松町））

県域キャベツ推進会議の春季検討会へ参加しています。全農神田さんから今年度取扱量の概ね50%を契約的取引の形態で出荷する計画が示され安定した取引単価が期待されます。

また、当日は出荷目安あわせとして、ダンボールの梱包方法、適切な出荷基準の確認を行いました。広島県農業活性化推進課宇田さんは、集落法人のキャベツ栽培では、労働時間を把握可能なことが強みであり、改善すべき箇所が容易に見えてくる。収穫調整部分などに改善の余地があることが提示されました。



上：キャベツ推進会議で出荷目安あわせをする参加者

### ★キャベツ栽培の集落法人の皆様へ～

法人協事務局では、キャベツ班員の拡大、キャベツ栽培の仲間づくりを進めるため、キャベツを栽培する集落法人の皆様へキャベツ班の加入申込と今後の取組みの参考のためのアンケートを実施します。直接送付させていただきますので、キャベツ班への参加、アンケートのご協力をお願いします。

### ◎連携班（H22.7.7 県庁（広島市中区））

今回、初回となる「連携班」会議では、具体的な連携事例として本山顧問より「ファームサポート東広島（H21.12月設立）」の機械共同利用組織の報告があり、集落法人の所有する機械の利用状況から更なる低コスト化の可能性を追求した結果誕生した組織であるとの報告がありました。また、全班員より身近な連携事例が紹介され、想像以上の連携事例の多さに驚くとともに、高度な連携事例などの共有が図られました。

### ◎設立支援班（H22.7.23 県庁（広島市中区））

今回、2回目となる「設立支援班」会議では、設立支援班員の役割の確認と活動計画の共有が行われました。設立支援班員は、市町、JA、県などで組織する地域戦略組織との連携力を高め、設立対象地区の情報と推進状況を共有する中で、助言やアドバイザーの派遣斡旋などを行っていく役割を確認しました。また、班員より活動のポイント、設立を志向する地区の実態などの情報が交わされました。

## 支部ピックス

芸北

東広島

尾三

福山

三次

庄原

その他

## 集落法人自らが仲間を作る～庄原地域集落法人化リーダー研修会（7月8日）～

平成22年7月8日に庄原地域集落法人連絡協議会が主催する研修会が県の庄原庁舎で開催されました。庄原市内の16地区のリーダーと連絡協議会の12法人がアドバイザーとして参加し、総勢約60名で行われました。事例報告では、（農）大佐村の沖田さんが地域づくりは農が中心となっていくべきとし、認定農業者と共存する仕組みを実現する姿の報告がありました。続いて（株）藤本農園の藤本さんは、1戸1法人タイプの集落法人として、会社化して10年先をイメージすることができた。法人化の必要性、効果を軽快に話されていました。

分散会は、4つのグループに分かれ、設立アドバイザーが自らの経験、取組みを参加者に伝授されていました。

参加者の藤山さん（口和町金田石谷地区）は、「石谷の明日を考える会」の設置を通して、法人化を模索してきた。8月の設立に向けて最終調整に入っており、これまで、指導所などのアドバイザーや中山間地域等直接支払制度の第3期対策などが大きなきっかけになった。」と話され、「牛と米でつくる明るい将来」に向けた力強いエネルギーを感じました。



## 情報の羅針盤

### ◆「イノシシから農地を守ろう研修会～広島牛の放牧でイノシシもまいっちゃう～」が開催されます

【日時】平成22年8月20日（金）10時～15時【場所】午前①講演会（道の駅 湖畔の里福富）午後②現地研修会（（農）ファーム西能良放牧地）  
【問合せ申込】電話082-420-0939（前田，半川 東広島市）か電話082-423-2441（吉川 西部畜産事務所）若しくは専用用紙 締め切り8月16日（東広島市，東広島市地域農業集団連絡協議会法人部会の取組みですが，他地域の方の参加も可能です。東広島市内の方優先）

### ◆「集落法人センサス調査」【実施中】です

既に調査の終わった皆様方ご協力ありがとうございます。今後8月末までにほぼ全ての集落法人に訪問するなどして調査を実施する予定です。引き続きよろしくお願いします。



集落法人で 楽しい農業

豊かな村で楽しく 地域の未来